

本書について

本書では、複数の Windows 機に対して ksocket からの WinRM 接続の受け入れ設定を一括で行うための手順について記載いたします。

前提

本書の手順では、Active Directory のグループポリシー機能を使用します。そのため、下記の条件を満たす必要があります。

- Active Directory ドメインコントローラーが構成済みであること
- 設定対象の Windows 機が全てドメインコントローラーにて管理可能であること

また、本書は Active Directory 上での操作を経験済みの方を対象に内容記載いたします。各アプリケーションの詳細操作については割愛する部分もございますので、ご了承ください。

本書で使用する名称について

本書では設定を行う上で使用する各種オブジェクトの名称として、下記を使用します。

ksocket からアクセスするために作成するドメインユーザーアカウント名	ksocket
設定対象の Windows 機を所属させるセキュリティグループ名	ksocket-machine
ksocket からの接続受け入れ設定を管理するグループポリシーオブジェクト名	ksocket

既存のユーザーアカウント・セキュリティグループを使用する場合や、運用上の都合で別の命名を行う際は上記を適宜読み替えるようお願いいたします。

設定の流れ

本書では下記の流れにて設定を行います。

1. ドメインユーザー、セキュリティグループおよびグループポリシーオブジェクトの作成
2. セキュリティグループへのグループポリシー適用
3. ドメインユーザーに対する各コンピューターのローカルグループ割り当て

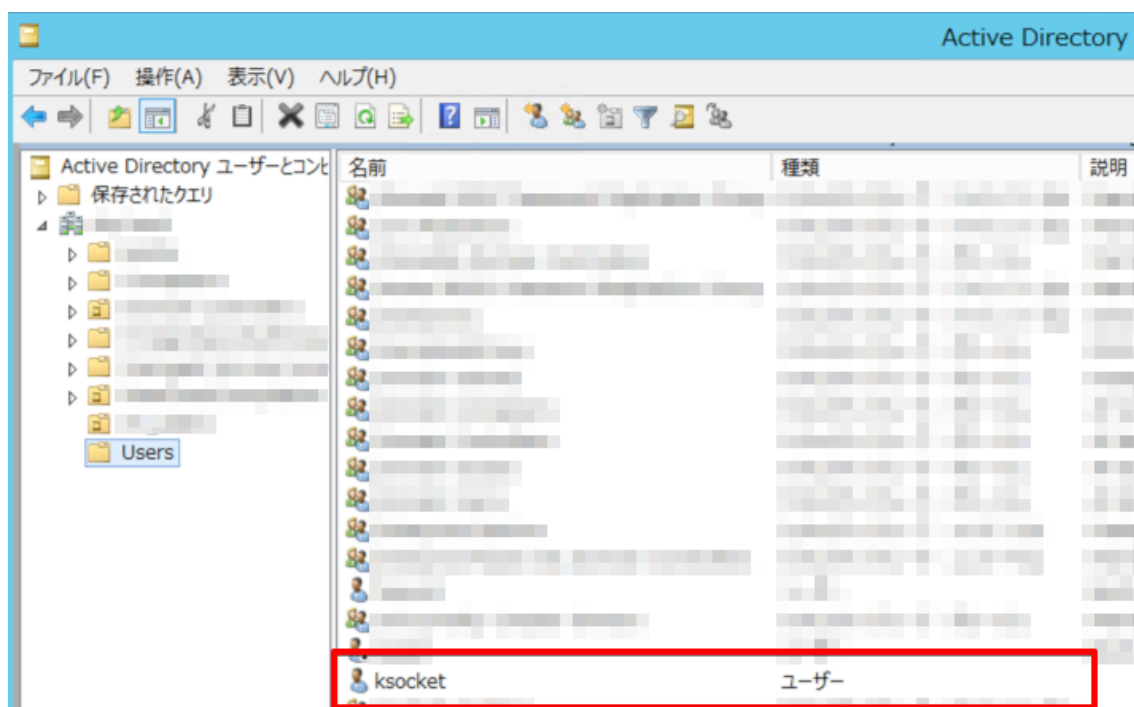
次ページ以降に、各手順の詳細を記載いたします。

ドメインユーザーの作成

ドメインユーザーを作成するには下記の手順を実施します。

- ① 「Active Directory ユーザーとコンピューター」を起動する
- ② 左ツリーメニューよりユーザーを作成する組織単位(OU)を選択する
- ③ 右リスト内の何もない部分を右クリックし、「新規作成」→「ユーザー」を選択する
- ④ 「姓」「ユーザーログオン名」に「ksocket」と入力し、「次へ」をクリックする
- ⑤ 「パスワード」に任意のパスワードを入力する
(このパスワードは後に ksocket のクレデンシャル設定に使用します)
- ⑥ 「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」のチェックを外す
- ⑦ 「パスワードを無制限にする」のチェックを入れ、「次へ」をクリックする
- ⑧ 「完了」をクリックする

組織単位「Users」へユーザー作成を行った例を下記へ記載します。

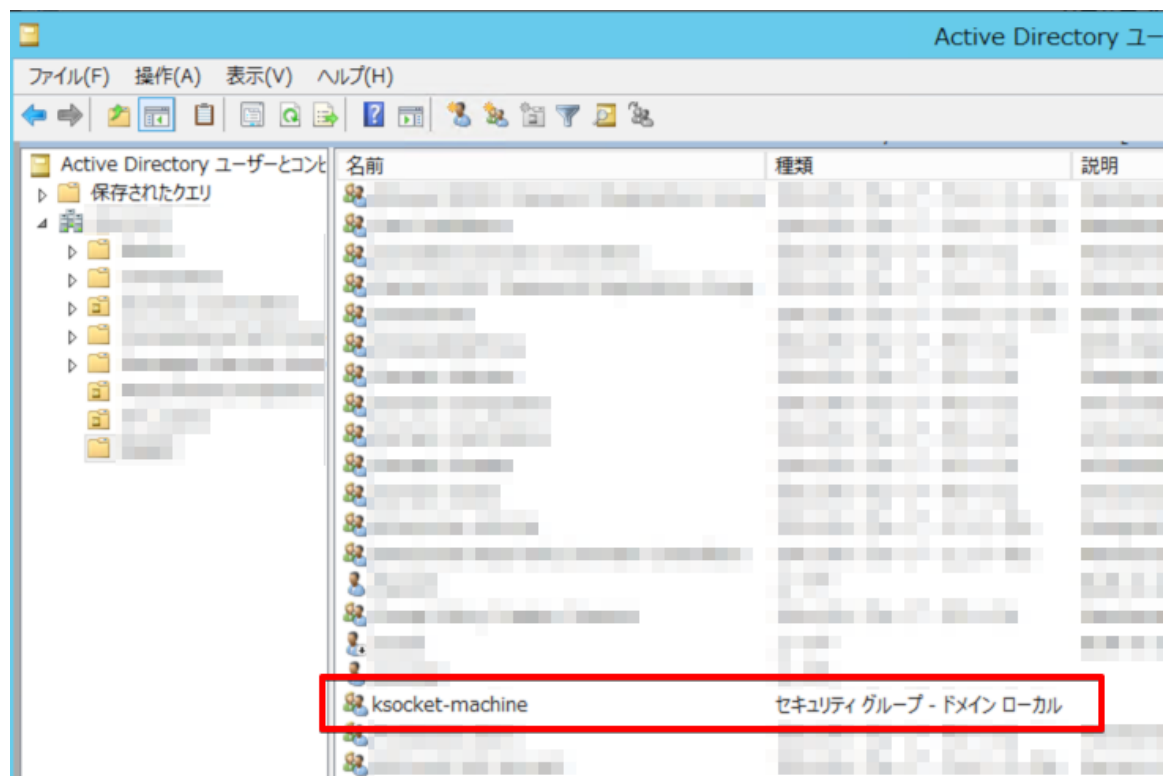


セキュリティグループの作成

セキュリティグループを作成するには下記の手順を実施します。

- ① 「Active Directory ユーザーとコンピューター」を起動する
- ② 左ツリーメニューよりユーザーを作成する組織単位(OU)を選択する
- ③ 右リスト内の何もない部分を右クリックし、「新規作成」→「グループ」を選択する
- ④ 「グループ名」に「ksocket-machine」と入力する
- ⑤ 「グループの範囲」を「ドメインローカル」に変更する
- ⑥ 「OK」をクリックする

組織単位「Users」へグループ作成を行った例を下記に記載します。

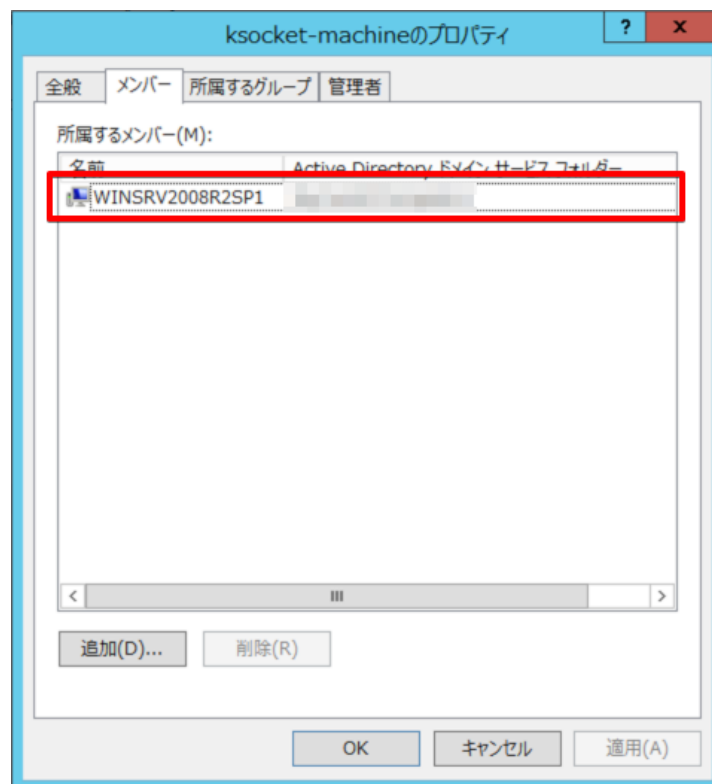


セキュリティグループへのメンバー追加

セキュリティグループを作成したら、下記の手順にて設定対象の全てのコンピューターをメンバーとして追加します。

- ① 「Active Directory ユーザーとコンピューター」より「ksocket-machine」グループを右クリックする
- ② 「プロパティ」を選択し、「メンバー」タブを開く
- ③ 「追加」をクリックする
- ④ 対象のコンピューター名を入力し、「名前の確認」より対象コンピューターを選択する。
この操作を対象コンピューター全てに対して繰り返す
- ⑤ 「OK」をクリックする
- ⑥ 「適用」をクリックする

実際に設定を行った例を下記に記載します。

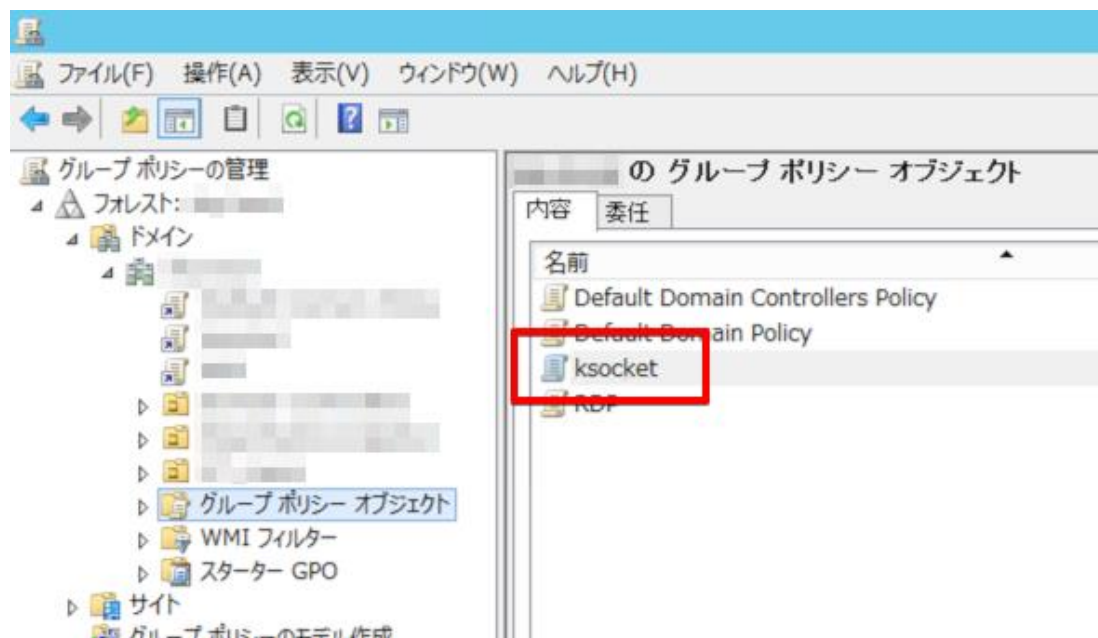


グループポリシーオブジェクトの作成

グループポリシーオブジェクトを作成するには、下記の手順を実施します。

- ① 「管理ツール」より「グループ ポリシーの管理」を起動する
- ② 左ツリーメニューより設定対象のドメインを右クリックする
- ③ 「このドメインに GPO を作成し、このコンテナにリンクする」をクリックする
- ④ 「名前」に「ksocket」を入力し、「OK」をクリックする

実際に追加した例を下記に記載します。

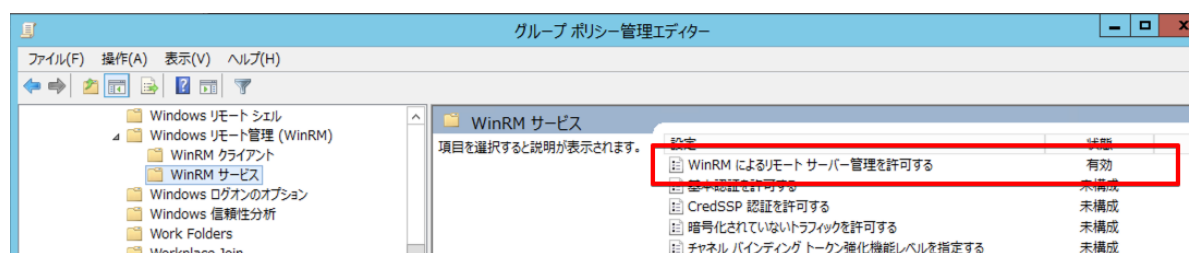


グループポリシーオブジェクトの編集(WinRM の設定)

作成したグループポリシーオブジェクトに対し、具体的な設定を加えます。

- ① 「グループ ポリシーの管理」の左ツリーメニューより
設定対象ドメイン内の「グループ ポリシー オブジェクト」を選択する
- ② 「ksocket」を右クリックし、「編集」を選択する
- ③ 左ツリーメニューより、「コンピューターの構成」→「ポリシー」→「管理用テンプレート」→
「Windows コンポーネント」→「Windows リモート管理(WinRM)」→「WinRM サービス」を選択する
- ④ 「WinRM によるリモートサーバー管理を許可する」を右クリックし、「編集」を選択する
- ⑤ ラジオボタンより「有効」を選択する
- ⑥ 「オプション」内の「IPv4 フィルター」「IPv6 フィルター」双方に「*」を入力し、「OK」をクリックする

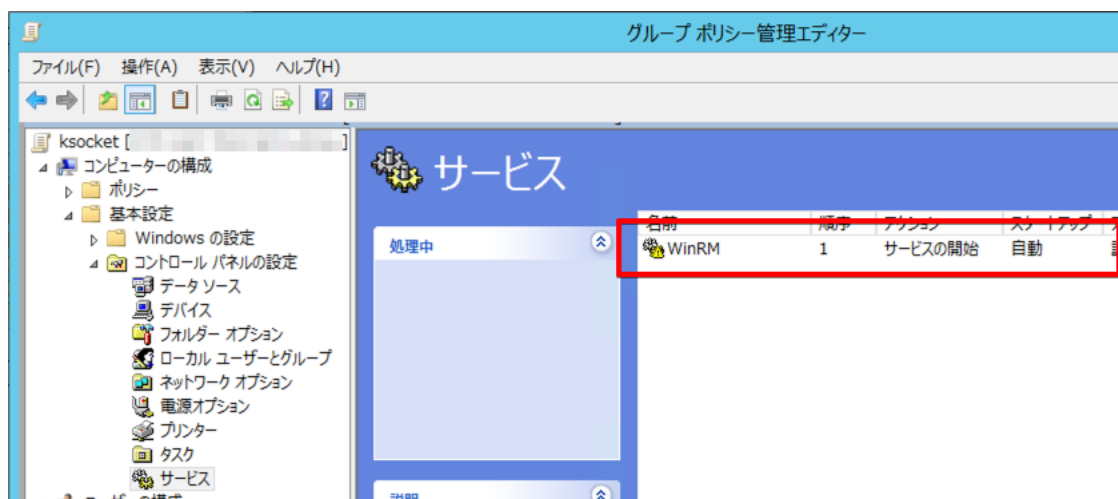
ここまでの設定を行った例を下記に示します。



引き続き、次ページの手順を行います。

- ⑦ 左ツリーメニューより「コンピューターの構成」→「基本設定」→「コントロール パネルの設定」→「サービス」を選択する
- ⑧ 右の表内(この時点では項目なし)を右クリックし、「新規作成」→「サービス」を選択する
- ⑨ 「スタートアップ」を「自動」に変更する
- ⑩ 「サービス名」の右にある「...」をクリックする
- ⑪ 「Windows Remote Management」を選び、「選択」をクリックする
- ⑫ 「サービス操作」を「サービスを開始する」に変更し、「OK」をクリックする

設定を行った例を下記に記載します。

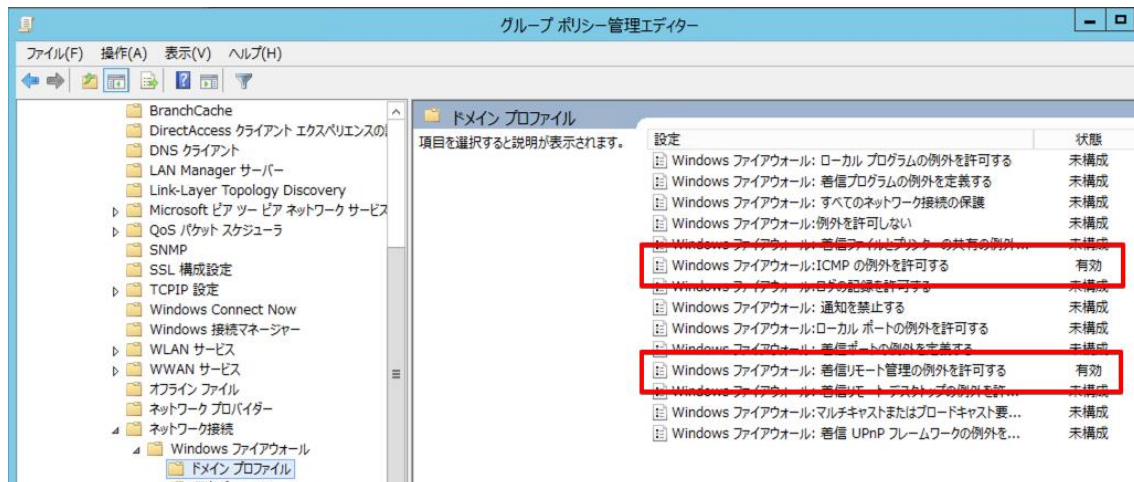


グループポリシーオブジェクトの編集(ファイアウォールの設定)

ksocket からの接続をブロックしないよう、ファイアウォールの設定を加えます。

- ① 「グループ ポリシーの管理」の左ツリーメニューより
設定対象ドメイン内の「グループ ポリシー オブジェクト」を選択する
- ② 「ksocket」を右クリックし、「編集」を選択する
- ③ 左ツリーメニューより、「コンピューターの構成」→「ポリシー」→「管理用テンプレート」→
「ネットワーク」→「ネットワーク接続」→「Windows ファイアウォール」→
「ドメイン プロファイル」を選択する
- ④ 「Windows ファイアウォール:ICMP の例外を許可する」を右クリックし、「編集」を選択する
- ⑤ ラジオボタンより「有効」を選択する
- ⑥ 「オプション」内の「着信エコー要求を許可する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする
- ⑦ 「Windows ファイアウォール: 着信リモート管理の例外を許可する」を右クリックし、
「編集」を選択する
- ⑧ ラジオボタンより「有効」を選択する
- ⑨ 「オプション」の「要請されない着信メッセージを許可する IP アドレス」に「*」を入力し、
「OK」をクリックする

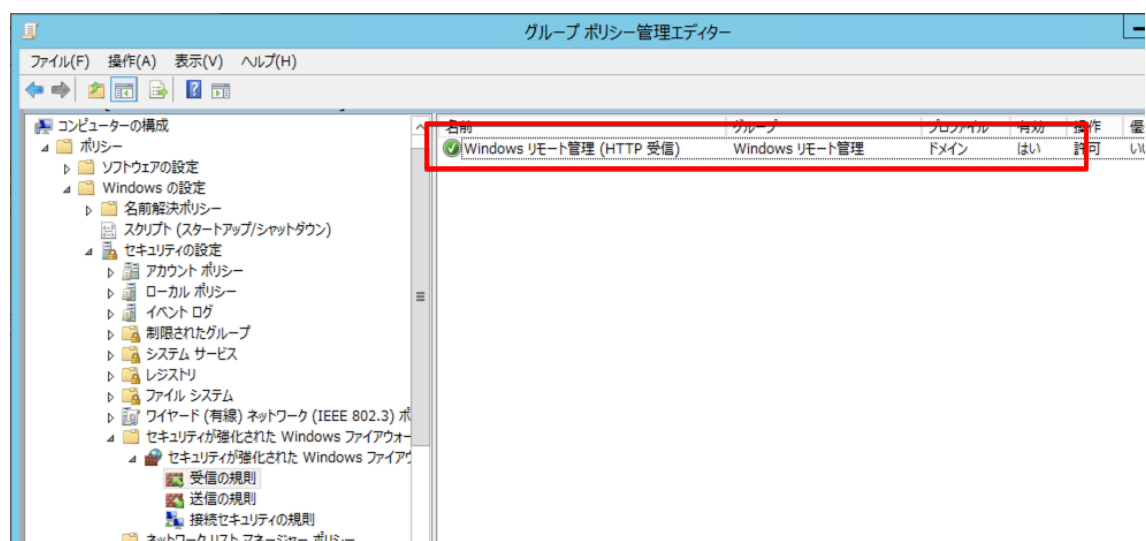
設定を行った例を下記に記載します。



引き続き、次ページの手順を実施します。

- ⑩ 左ツリーメニューより、「コンピューターの構成」→「ポリシー」→「Windows の設定」→「セキュリティの設定」→「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」→「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」→「受信の規則」を選択する
- ⑪ ビューを右クリックし、「新しい規則」を選択する
- ⑫ ラジオボタンにて「事前定義」を選択し、セレクトボックスより「Windows リモート管理」を選択する
- ⑬ 「次へ」をクリックする
- ⑭ 2 つの規則が表示されるので、「プロファイル」が「パブリック」になっている規則のチェックを外す
- ⑮ 「次へ」→「完了」をクリックする
- ⑯ 作成された規則を右クリックし、「プロパティ」を選択する
- ⑰ 「詳細設定」タブを開き、「プロファイル」内の「プライベート」のチェックを外す
- ⑱ 「OK」をクリックする

設定を行った例を下記に記載します。

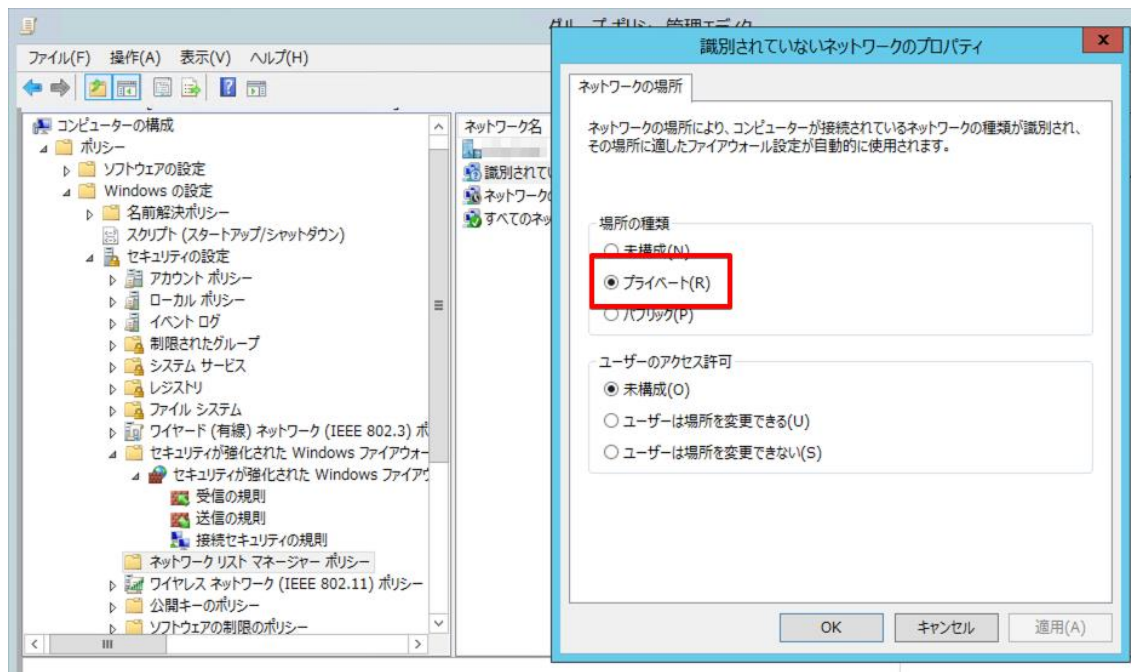


グループポリシーオブジェクトの編集(ネットワークポリシーの設定)

ネットワークポリシーの設定を加えます。

- ① 「グループ ポリシーの管理」の左ツリーメニューより
設定対象ドメイン内の「グループ ポリシー オブジェクト」を選択する
- ② 「ksocket」を右クリックし、「編集」を選択する
- ③ 左ツリーメニューより、「コンピューターの構成」→「ポリシー」→「Windows の設定」→
「セキュリティの設定」→「ネットワーク リスト マネージャー ポリシー」を選択する
- ④ 「識別されていないネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」を選択する
- ⑤ 「場所の種類」を「プライベート」に変更し、「OK」をクリックする

実際に設定を行った例を下記に記載します。

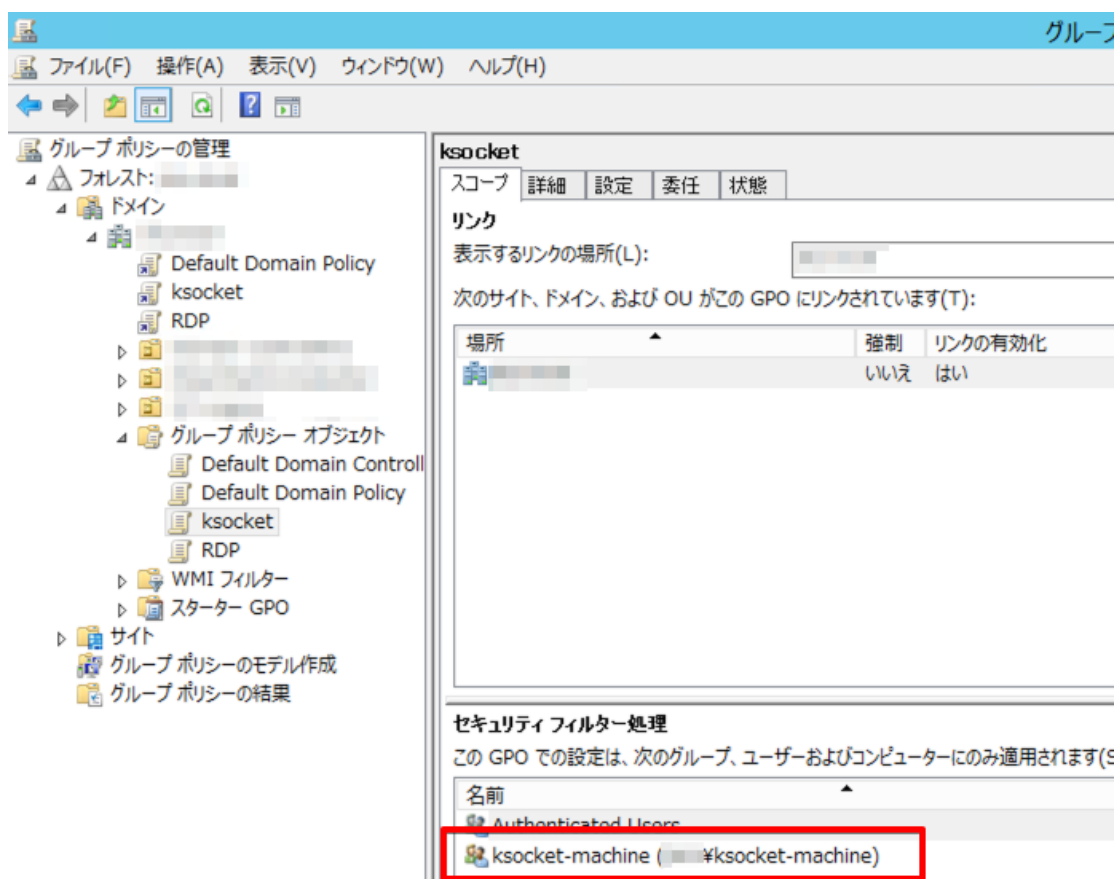


セキュリティグループへのグループポリシー適用

作成したグループポリシーを、下記の手順でセキュリティグループへ適用します。

- ① 「管理ツール」より「グループ ポリシーの管理」を起動する
- ② 左ツリーメニューより対象ドメイン内の「グループ ポリシー オブジェクト」 → 「ksocket」を選択する
- ③ 「セキュリティ フィルター処理」下部の「追加」をクリックする
- ④ 「選択するオブジェクト名を選択してください」ボックス内に「ksocket-machine」と入力し、「名前の確認」をクリックする。複数の候補が出た場合は「ksocket-machine」グループを選択する
- ⑤ 「OK」をクリックする

実際に設定を行った例を下記に記載します。

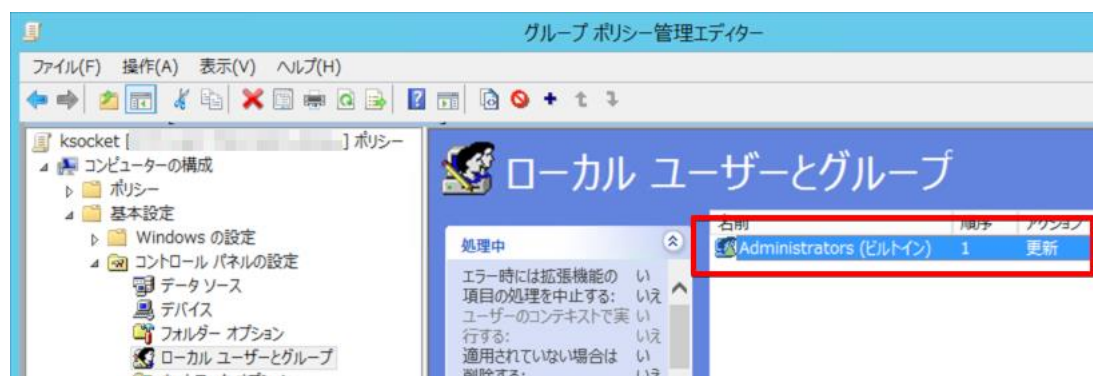


ドメインユーザーに対する各コンピューターのローカルグループ割り当て

最後に、ドメインユーザーを各コンピューターのローカルグループへ割り当てます。

- ① 「管理ツール」より「グループ ポリシーの管理」を起動する
- ② 左ツリーメニューより設定対象ドメイン内の「グループ ポリシー オブジェクト」を選択する
- ③ 「ksocket」を右クリックし、「編集」を選択する
- ④ 左ツリーメニューより「基本設定」→「コントロールパネルの設定」→「ローカル ユーザーとグループ」を選択する
- ⑤ ビュー内を右クリックし、「新規作成」→「ローカルグループ」を選択する
- ⑥ 「グループ名」プルダウンより「Administrators(ビルトイン)」を選択する
- ⑦ 「メンバー」下部の「追加」をクリックする
- ⑧ 「名前」の右にある「…」をクリックする
- ⑨ 「選択するオブジェクト名を入力してください」に「ksocket」と入力する
- ⑩ 「名前の確認」をクリックする。複数の選択肢が提示された場合は「ksocket」ユーザーを選択する
- ⑪ 「OK」をクリックして「ユーザー、コンピューターまたはグループの選択」ダイアログを閉じる
- ⑫ 「OK」をクリックして「ローカル グループ メンバー」ダイアログを閉じる
- ⑬ 「メンバー」に選択したユーザーが追加されたことを確認し、「OK」をクリックする

実際に設定した例を下記に記載します。



以上にて全ての設定手順は完了となります。

適宜、「ksocket」ユーザーを使用するよう ksocket のクレデンシャル設定を行ってください。